

白河市で「やさしい道づくり協議会」を開催しました。

福島県では、公共交通機関や公益施設を結ぶ道路を対象に、高齢者や障害者にやさしい道づくりを実施しています。平成25年度から始まる「やさしい道づくり推進事業 第8次3ヶ年計画」を策定するため、地域の代表者から助言や意見をいただく「やさしい道づくり協議会」を開催しました。

日 時：平成25年2月7日（木） 13:30～

場 所：白河合庁 303会議室

出席者： 会 長 渡辺 富夫（建築士会 白河支部長）
（敬称略） 委 員 内藤 亘（白河市商工会議所 中小企業相談所長）
委 員 後藤 邦雄（白河福祉協議会 常務理事兼事務局長）
委 員 有賀 常晴（白河市身体障害者福祉会 幹事）
委 員 清水 善治（白河市白寿会連合会 会長）
委 員 徳田 芳江（白河市交通安全母の会連絡協議会 会長）
委 員 土屋 郁夫（白河市保健福祉部 社会福祉課長）
委 員 鈴木 正（白河市保健福祉部 高齢福祉課長）
委 員 高桑 善壽（白河市建設部 道路河川課町）
委 員 田崎 武浩（白河市建設部 都市計画課長）
委 員 小賀坂幸男（白河警察署 交通課長 代理：和田）
委 員 中目 文伸（県南保健福祉事務所総務企画部総務企画課 主査）
委 員 鈴木 勝徳（県南建設事務所 企画管理部長）
事務局 福島県県南建設事務所 企画管理部 管理課



協議会の様子



協議会の様子

協議会の様子



本委員会での確認事項、意見、助言等の要旨

- 本事業による整備済区間は歩道部の電柱が撤去され、広くて使いやすい。
- 本事業の目的は歩道の再整備 → 歩道新設は他事業対応
- 電柱をできるだけ道路から外すべき
- 新規箇所として国道294号の二番町を検討する。
- 原則としてフラット型の歩道とし、凸凹の解消に努める。
- 効果的な事業なので、地元の同意が得られるようにPRを推進する。
- 町並みに配慮した歩道整備の要望